

令和3年度 益子町立七井小学校学校評価書

1 教育目標と目指す児童像

【学校教育目標】	【目指す児童像】
○学ぶ	◇自ら学ぶ子
○鍛える	◇たくましい子
○思いやる	◇思いやりのある子

2 学校経営の基本方針

- (1) 学習指導要領の趣旨や内容等を十分に踏まえ、児童の発達の段階を考慮しながら知・徳・体をバランスよく育むための教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 学校教育活動全体を通じ、心身ともに健康で安全な生活態度の育成に努める。
- (3) 家庭及び地域等との連携の下、信頼される学校づくりに努める。
- (4) 教職員一人一人が自分の職務に誇りと自信をもち、個々の強み（学校組織）を生かした熱意あふれる教育の展開に努める。
- (5) 健康管理や勤務時間を意識した「働き方改革」の推進に努める。

3 努力点と具体策

- (1) 「生きて働く確かな学力」を育むための学習指導の充実
 - ①授業の充実（めあての提示と振り返りの工夫、タブレットを含むICT機器の効果的な活用、TTの効果的な活用等）
 - ②自ら学ぶ学習習慣の確立（家庭学習の手引きの活用、保護者への啓発等）
 - ③個別指導・支援の充実（スマイル教室、TTの活用等）
 - ④漢字力、計算力向上のための指導の工夫・改善（ミニテストの実施等）
 - ⑤外国語及び外国語活動の充実（専科教員の活用と連携等）
- (2) 「たくましく生きる気力と体力」を育むための健康・安全教育の充実
 - ①教科体育、体力向上に向けた指導の充実（新体力テスト結果の活用、補強運動の工夫、外遊び・共遊の推進等）
 - ②給食指導の充実（完食の推奨、マナー・栄養指導、衛生・安全管理の徹底）
 - ③生活・交通・災害安全等に関する指導の充実（各種避難訓練、新型コロナウイルス感染症等各種感染症対策、危機管理マニュアルの活用）
 - ④教育相談の充実（定期教育相談期間の設定、スクールカウンセラーの活用等）
 - ⑤生活リズム確立のための指導の工夫・改善（ノーメディアデーの活用と家庭への啓発等）
- (3) 「優しさと思いやり」を育むための心の教育の充実
 - ①校心「なないの心」の意識化と日常的な実践（帰りの会や昼の放送での発表等）
 - ②読書活動の推進（読書タイムの活用、家読の推奨）
 - ③響き合うあいさつ、温かい言葉遣いの実践（あいさつチャンピオン表彰等）
 - ④芸術鑑賞、交流学习、宿泊学習の豊かな体験活動の充実
 - ⑤やまぶき班活動の工夫・改善（共働・共遊・共感の場の設定と実践）
 - ⑥「特別の教科 道徳」の充実
- (4) 地域に信頼される学校づくりの推進
 - ①迅速な情報の発信（学校・学年・保健だより、ホームページ等）
 - ②地域の教育力の活用（「なないっ子ネット」の推進、ボランティアコーディネーターとの連携等）
 - ③教育活動への保護者等の参加・協力（引率ボランティア等）
 - ④学校評価を生かした学校経営（自己評価、保護者・児童アンケート、学校関係者評価の実施、評価結果を踏まえたPDCAの実践）
- (5) 教職員個々のよさの発揮と参画意識の高揚
 - ①教師力の向上を目指す研修の充実（現職教育、研修会の主体的参加と内容等の共有）
 - ②教職員評価制度の充実（各種面談の確実な実施と目標設定・評価の工夫）
 - ③居がいのある職場環境づくり（風通しのよい雰囲気醸成、働き方改革の推進）

4 評価表

評価・・・ A…十分に成果が見られる
C…あまり成果が見られない

B…成果が見られる
D…問題点が多い

評価値の設定

○個人の評価点

A…4点

B…3点

C…2点

D…1点

○全体の評価点(平均点)

A…4～3.5点

B…3.5未満～2.5点

C…2.5未満～1.5点

D…1.5未満～1点

項目	評価項目	主な具体的取組	自己評価(教職員評価)
教育課程	○学校は明るい雰囲気、児童は生き生きと生活している。 【評価指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	①日課の工夫を図り、児童が落ち着いて学習に取り組むとともに、休み時間に元気に外で遊ぶようにする。 ②行事を通して児童が成長できるよう、行事の工夫を図る。 【児童アンケート】 「わたしは、七井小学校での毎日が楽しい。」 A…70% B…23% C…5% D…2%	【評価】 A 12人 B 6人 C 0人 D 0人 平均 3.6点 ----- 【達成状況】 ・前年度のうちに日課表を検討し、新しい日課表での運用となった。特に朝は、時間に余裕をもって学習へと移行することができた。 ・新型コロナウイルス感染症予防を念頭に置き、運動会や遠足、マラソン大会などを実施した。内容を縮小化することは避けられなかったが、児童は行事を通して大きく成長した。 ・外国語専科教員とALTの配置により、充実した外国語科と外国語活動の授業を行うことができた。 ・コロナ禍で、業間に集会活動を行うことができなかった。 ・異学年交流を目的とするやまぶき班活動(縦割り班活動)は一部清掃時のみで、その他は実践することができなかった。 【次年度の方針】 ・今後も児童と向き合う時間を大切にし、児童にとって居がいのある学校づくりを進めていく。 ・コロナ禍における業間活動を考え、児童の活力につながるようにしていく。
		学校関係者評価(学校評議員)	
【評価】 A A 5人 B 0人 C 0人 D 0人 平均 4点			
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度はコロナに翻弄され、学校行事も縮小等、大変な1年でしたが、その中でも七井小の子どもたちは、明るく素直で元気で頼もしく感じている。とても礼儀正しい。 学校が楽しいと思っている児童が93%と高いのはすばらしい。100%に近づけるべくさらなる工夫改善をお願いしたい。 次年度はやまぶき班活動ができるとよい。 仕事の都合等により子供たちの様子を見る機会が非常に少なかったため、自分の評価がより適切かどうか疑問が残る。 			
教育課程	○教職員は、協力し合っ て熱心に教育に当たっている。 【評価指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	①「分かる・できる・楽しい授業」づくりに努める。(「めあて」の提示・「ふりかえり」等の実践) ②指導方法や指導体制を工夫・改善する。 ③学校課題であるChromebookの効果的な活用についての研修を行い、授業力の向上を図る。 【児童アンケート】 「先生は、自分たちのために、熱心に指導してくれる。」 A…80% B…17% C…2% D…1%	【評価】 A 7人 B 10人 C 1人 D 0人 平均 3.3点 ----- 【達成状況】 ・学習指導主任や学力向上推進リーダーのリーダーシップのもと、職員は授業改善に取り組んだ。学力向上コーディネーターの指導を受けることで、授業力向上への意識が高まった。 ・「めあて」、「ふりかえり」の実践が定着し、内容の充実に向けて努力の様子が見られた。 ・ICTの効果的な活用に向けて、前向きな姿が見られた。 ・職員室では、教材研究、児童理解の情報交換および指導等の話題が中心であった。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を生かしつつ、学校の組織力を生かして内容や改善の視点をより明確にし、児童にとって最適な環境作りを進めるとともに各種研修等をとおして教師の指導力向上を図っていく。
		学校関係者評価(学校評議員)	
【評価】 A A 5人 B 0人 C 0人 D 0人 平均 4点			
<ul style="list-style-type: none"> 教職員が児童・保護者に信頼されているからこそ、児童は授業に集中できていると思う。 児童アンケートの結果が非常によい結果となっていて喜ばしい。 先生方の熱心な教育への取組の姿に感謝したい。コロナ対応は、平日遅くまでや土日までも、校長・教頭をはじめ、職員が丁寧に親切になされたと一部保護者から聞いている。 			

学 校 運 営	○学校・家庭・地域が一体となった取組を推進している。	①学校支援ボランティアや地域の人材を有効に活用する。 ②学校・家庭・地域が協力し合って安全対策を推進する。	【評 価】 A 12人 B 6人 C 1人 D 0人 A 平均 3.7点
	【評価指標】 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	【保護者アンケート】 「学校は、家庭や地域と連携しながら教育活動を推進している。」 A…32% B…53% C…15% D…0%	【達成状況】 ・コロナ禍にあり、校外学習で、学校支援ボランティアの協力を得ながらの学習はごくわずかであった。 ・飼育ボランティアさんは、年間を通して活動してくださった。 ・交通指導員さんと保護者による登校時の交通指導や、スクールガードの皆様の協力など、地域の協力を得ながら児童の安全対策を継続して講じることができた。 ・ボランティアコーディネーターさんと連絡を取り合い、活動方針を確認した。 ・保護者に来校していただく機会がほとんどなかったため、学校の様子が伝わりにくい部分が多々あった。 【次年度の方針】 ・コロナ禍でできることを考えながら、今後も地域の協力を得て、地域人材の活用と「コロナ禍における開かれた学校づくり」を推進していく。

学校関係者評価（学校評議員）

【評 価】 A A4人 B1人 C0人 D0人 平均3.8点

- ・保護者アンケートのC評価が15%になったのは、コロナ感染症予防対策の影響で仕方ないと思う。地域別学校開放など人数制限をしながらの取組で、保護者に足を運んでもらい、児童の様子を見てもらうのはどうだろうか。
- ・コロナ禍での校外学習は、実施決断が非常に難しいと思う。子供たちの安全を最優先に考え、決断をお願いしたい。
- ・なかなか成果が見えにくい取組のため、評価が難しい。

学 校 運 営	○学校の公開や情報の積極的な発信・提供に努めている。	①学校を公開し、家庭との連携を一層深める。 ② Classroom、ホームページや各種たよりなどを通して、情報を的確に発信する。	【評 価】 A 16人 B 2人 C 1人 D 0人 A 平均 3.8点
	【評価指標】 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	【保護者アンケート】 「学校は、意見の収集や情報の提供を積極的に行っている。」 A…29% B…56% C…15% D…0%	【達成状況】 ・Classroom、ホームページ、学年だより等を利用して学校の様子を紹介した。特に学年（学級）の行事があるときは、Classroom への情報発信を心掛けた。 ・定期的に学校だよりを地域に回覧することで、学校の教育活動の様子を地域に発信してきた。 ・コロナ禍で保護者が来校できず、保護者が学校の様子を知るには上記のような手段に限られてしまった。 【次年度の方針】 ・各種行事等において、密を防ぐような運営を検討していくとともに、各種たよりによる情報発信、ホームページの運用や更新、タブレットの活用等、情報発信のための効果的な手立てを考え、実践していく。

学校関係者評価（学校評議員）

【評 価】 A A4人 B1人 C0人 D0人 平均3.8点

- ・ホームページの更新が日々行われ、閲覧者の数も多い。コロナ禍にあっては優れた手段の一つである。
- ・情報の発信はできていると言えるが、コロナ禍による来校機会の減少により、それがきちんと伝わっているかどうかは保護者アンケートに結果が表れていると思う。
- ・Classroom がまだ開けられない（見たいけれど見られない）保護者がいると聞いている。分かりやすい手順書のようなものがあるとよい。

学 校 運 営	○信頼される学校づくりを目指して積極的に教育活動の改善に努めている。	①学校評価を適切に実施するとともに、学校評価の結果を教育活動の改善に生かしていく。 ②保護者や地域から信頼される学校づくりを推進する。 ③教師力向上を目指す校内研修等の充実を図る。 ④組織としての教育機能の強化を図る。	【評 価】 A 9人 B 9人 C 0人 D 0人 A 平均 3.5点
			【達成状況】 ・学校評価の結果をもとに各分掌ごとに具体策を考え、改善につなげている。 ・児童・保護者アンケートから見えてきた課題は、個別に対応したり、校務運営委員会等で改善策を検討したりした。 【次年度の方針】 ・学校評価やアンケートの結果ですぐに改善できるものは年度内に実施する。改善点は、次年度の組織や努力点・具体策の中に反映できるよう努める。

<p>【評価指標】 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>⑤教職員の持ち味の発揮と意欲的な職場環境づくりの推進を図る。</p> <p>【保護者アンケート】 「学校は、アンケートの結果を教育活動に積極的に生かしている。」 A…26% B…60% C…11% D…3%</p>	<p>・教職員の持ち味が発揮でき、意欲的な職場環境となるように努め、引き続き業務改善についても取り組んでいく。</p>
--	--	---

学校関係者評価（学校評議員）

【評価】 A 4人 B 1人 C 0人 D 0人 平均3.8点

・アンケート及び教職員評価の結果から成果が見られると考えた。

<p>児童の状況</p> <p>(生活) ○明るくあいさつし、居がいのある学校生活を送っている。</p> <p>【評価指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <p>⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①人権教育を考慮し、「明るいあいさつ」、「温かい言葉遣い」、「さん」で呼ぶ環境づくりの徹底を図る。</p> <p>②各月ごとの心の健康チェックや、学期ごとの教育相談週間を実施するとともに、スクールカウンセラーの積極的な活用を図る。</p> <p>【児童アンケート】 ア「わたしは、毎日進んであいさつをしている。」 A…61% B…30% C…7% D…2%</p> <p>イ「わたしは、友達や先生に良い点が認められている。」 A…40% B…43% C…13% D…4%</p>	<p>【評価】 A 5人 B 9人 C 4人 D 0人 平均3.0点</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつチャンピオンについて、思うような実践ができなかった。 ・あいさつについては、職員が率先してあいさつをしたり、朝の会や下校時など、全教育活動において、あいさつの大切さについて指導する等、意識啓発に努めた。しかしながらまだまだ十分でなく、継続して粘り強く指導していく必要がある。児童の意識と実践状況にずれがあり、児童自身はあいさつをしっかりと行っていると思っているようだが、保護者アンケートの結果とは大きな差がある。地域の方からももっとあいさつができることよとの声も寄せられている。 ・月ごとの心の健康チェックアンケートをもとに、教育相談を行い、改善に努めた。また、スクールカウンセラーの効果的な活用を図ることができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつが飛び交う学校を目指し、今後も学校全体で継続して粘り強く指導していく。 ・アンケートや教育相談の実施方法の検討と改善およびスクールカウンセラーの効果的な活用を図っていく。 ・児童の自己肯定感が高まるような指導を、道徳をはじめ、学校教育活動全体において行っていく。
---	--	---

学校関係者評価（学校評議員用）

【評価】 B A 2人 B 3人 C 0人 D 0人 平均3.4点

・コロナ禍により元気よくあいさつすることが難しい状況になっており、やむを得ない部分もある。

・下校途中の児童たちと会うことがあり、児童らから先に「こんにちは」の元気なあいさつをもらっている。校内ではコロナ禍のため大きな声を出すことは難しいだろうから、手話を交えて「おはよう」「さようなら」「ありがとう」など試してみるのはいかがでしょうか。手話への関心の高まりも期待できるかもしれない。

・校外指導も兼ね、登校班児童が通るたびあいさつをするが、あいさつをする児童とそうでない児童がいる。あいさつをしたらあいさつをかえす児童に育ててほしい。

<p>(健康・体力) ○規則正しい生活をし毎朝朝ご飯を食べている。</p>	<p>①十分な睡眠を確保し、規則正しく生活しているかの生活チェックを行う。また、個別の指導を行う。</p> <p>②朝ご飯を食べ、元気に家を出ているか等、生活チェックを行うとともに、個別の指導を行う。</p>	<p>【評価】 A 5人 B 12人 C 0人 D 0人 平均3.3点</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種たよりによる保護者への啓発や生活チェックを行うことにより、家庭への意識付けにつながった。 ・生活チェックや個別の指導を行うことにより児童の生活の実態を把握できた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活習慣の確立の重要性を繰り返し話題にし、各家庭の協力を得られるよう保護者への啓発を行う。
---	--	---

<p>【評価指標】 ⇒保護者の肯定的回答 ア・イとも 80 %以上</p>	<p>【保護者アンケート】 ア「お子様は、必要な睡眠時間を確保している。」 A…51% B…30% C…17% D…2%</p> <p>イ「お子様は、朝ご飯を食べて元気に家を出ている。」 A…73% B…21% C…5% D…1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年になるにつれ、睡眠時間の確保が難しくなる傾向にあるため、より家庭の協力が得られるようにする。
---	---	--

学校関係者評価（学校評議員）

【評価】 A A3人 B2人 C0人 D0人 平均3.6点

- ・児童アンケートと保護者アンケートで、朝ご飯を食べてこない割合が若干異なっている。
- ・各家庭の状況によるところが大きく、全員達成はなかなか難しい。
- ・保護者アンケートの睡眠時間の確保についての回答で、C・D評価が2割近いのが気になる。何の時間に使われているのだろうか。

<p>(健康・体力) ○運動や外遊びを進んで行い体力が向上している</p> <p>【評価指標】 ⇒児童の肯定的回答 80 %以上</p>	<p>①体育の授業展開を工夫するとともに、実施する領域を吟味し、運動の楽しさに気付き理解させ、その動きが身に付くよう努める。</p> <p>②外遊びや共遊ができる時間を確保する。</p> <p>【児童アンケート】 「わたしは、運動や外遊びを進んでしている。」 A…71% B…15% C…8% D…6%</p>	<p>【評価】 A7人 B11人 C0人 D0人 B 平均3.3点</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会やなわとび検定等、体育的行事に向けて、児童の意欲を高める工夫や活動の場が確保できた。 ・体力向上エキスパートティーチャによる指導（5年生対象）を受けることで、児童が自身の体力の落ち込んでいる部分を向上させようという意識を高めることができた。 ・業間の時間を中心に、外遊びの時間を確保することができた。また、昼休みは職員による児童との共遊や声掛けにより、外遊びの推進に努めた。 ・コロナ禍で活動が制限されることも多かった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「体力向上プログラム」をさらに有効に活用・実践できるようにしていく。
--	---	--

学校関係者評価（学校評議員）

【評価】 A A5人 B0人 C0人 D0人 平均4点

- ・学級事務があるなかで、業間や昼休みに教職員が、児童と外遊び等を行っているのはすばらしい。ぜひ続けていただきたい。
- ・休み時間の外遊びが今後も積極的にできるとよい。

<p>(学習) ○計算や漢字、読解などの力がついてきている。</p> <p>【評価指標】 ⇒児童の肯定的回答 ア・イとも 80 %以上</p>	<p>①計算力・漢字力の向上の指導を充実させている。</p> <p>②書く指導を通して、読解力や書く力の育成に努める。</p> <p>③家庭と連携して、ノーマディアデーを実践し、家庭学習の時間を確保する。</p> <p>【児童アンケート】 ア「わたしは、計算や漢字の練習をよくしている。」 A…52% B…37% C…9% D…2%</p> <p>イ「わたしは、読んだり書いたりする力が付いてきた。」</p>	<p>【評価】 A6人 B12人 C0人 D0人 B 平均3.3点</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニテストや繰り返し指導は、学力向上の土台となる計算力・漢字力向上に向けての取組において、基礎学力を付けるための有効な手立てになっている。 ・学力向上に向けての研修や学力向上推進リーダーの助言をもとに、指導方法の工夫・改善が進んだ。 ・研究授業を実施し、反省や検討を繰り返すことにより、教師自身の指導力向上はもとより、職員全体に学習指導法の向上への意欲と指導力アップが図られた。 ・ノーマディアデーについて学年だよりで知らせたり、児童には毎週放送で知らせたりして周知に努めた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が集中できる授業づくりや学習教材の工夫を継続し、複数での指導体制の充実を図り、分かる授業の展開を検討していく。 ・計算力・漢字力向上のための繰り返し指導の実施により、児童の意欲や基礎学力の向上が図れるようにする。
---	--	---

⇒児童の肯定的回答 90%以上	A…55% B…33% C…9% D…3%	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で、「めあて」「自分の考えを書く活動」「まとめ」「ふりかえり」の指導、実践を今後も継続していく。 基礎的な学力はもとより、児童に思考・表現を要する力が身に付くよう、研修等をとおして指導法の工夫を図っていく。
	ウ「わたしは、集中して授業に取り組んでいる。」 A…58% B…35% C…5% D…2%	

学校関係者評価（学校評議員）

【評価】 A 4人 B 1人 C 0人 D 0人 平均3.8点

- ・9割近い児童が良好な評価をしており、目標に近づいた。
- ・漢字・計算など、ドリル的学習の実施を引き続きお願いしたい。

(学習) ○家庭学習の習慣が身に付いてきている。 【評価指標】 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	①発達の段階に応じて、家庭学習の仕方を指導する ②自ら学ぶ学習習慣を身に付けるための、学校と家庭との学習サイクルの定着を図る。	【評価】 A 5人 B 12人 C 1人 D 0人 B 平均3.2点
	【児童アンケート】 「わたしは、目安の時間くらい宿題や自主学習をしている。」 A…57% B…30% C…9% D…4%	【達成状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の記録」を継続するとともに、宿題の内容や学習に関する情報を提供することで、家庭との連携を図った。 ・決められた課題だけでなく自主学習にも取り組むなど、家庭学習への意欲が高まった児童が前年度よりは増えてきた。 ・効果的な家庭学習の実施方法等についての学校と家庭間の共通理解が不十分であった。 【次年度の方針】 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の更なる定着を図るために、発達の段階に応じた家庭学習法について検討の場を設け、家庭との情報共有を密にしていく。 ・今後も家庭への啓発と協力依頼を継続する。特に家庭学習の内容や方法についての取組は個人差があるので、個に応じた丁寧な支援をしていく。

学校関係者評価（学校評議員）

【評価】 A 4人 B 1人 C 0人 D 0人 平均3.8点

- ・各家庭の状況によるところが大きいため、結果を出すのは難しいと思うが、重要な取組のため引き続き御指導願いたい。
- ・「ノーメディアデー実践」の項目は、こちらの項目に該当すると思う。

(学習) ○読書の楽しさを知り継続的に読書をしている。 【評価指標】 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	①読書記録を工夫することや読み聞かせにより、読書習慣の形成や読書意欲の向上を図る。 ②「家読の日」を設定することにより、家庭での読書が習慣化するよう働きかける。 ③学校司書による効果的な児童への支援を考え、図書室の有効活用を図る。	【評価】 A 7人 B 11人 C 0人 D 0人 B 平均3.3点
	【児童アンケート】 「わたしは、読書をするのが好きだ。」 A…61% B…22% C…9% D…8%	【達成状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・「朝の読書」の設定により、だれもが毎日きまった時間に読書をする習慣が身に付いてきた。 ・「本の貯金箱」や「家読カード」を利用してきたが、保護者アンケートの「お子様は読書をするのが好きだ。」についての肯定的回答は55%であった。 ・「家読の日」はまだ浸透していない感がある。 ・新刊図書の受け入れ、図書の修理等が迅速になされたうえ、学校司書に授業に関してふさわしい本を選んでもらったことにより、並行読書を効果的に行うことができた。 ・コロナ禍で、読み聞かせボランティア「かたつむりの会」による読み聞かせは実施できなかった。 【次年度の方針】 <ul style="list-style-type: none"> ・国語や学級活動の授業等を活用し、読書への興味・関心が高まるような指導を、発達段階に応じて繰り返し行う。 ・月1回の「家読の日」が浸透するよう学年だより等で家庭に連絡をしてきたが、継続して協力を呼びかける。 ・学校での読書指導の充実と保護者への啓発を積極的に行う。 ・学校司書の効果的な活用方法を検討・実践していく。

学校関係者評価（学校評議員）

【評価】 A A4人 B1人 C0人 D0人 平均3.8点

- ・「本の貯金箱」は良いアイデアだと思う。大人も文字離れが進んでいるので、子供たちに本の魅力や楽しさを伝える御指導をお願いしたい。
- ・朝読は、引き続き定着させていただきたい。
- ・読書の楽しさについてA・Bに評価した児童が83%なのに対し、保護者評価は55%であった。大きな差が生じているが理由が知りたい。

5 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

教育課程について

コロナウイルス感染症対応は次年度も続くものと思われる。学校行事に関しては、できる範囲で工夫を図り実施していきたい。やまぶき班活動（縦割り班活動）についても然りである。

各種研修を通して教師の指導力向上を図ると共に、学力調査等の結果を踏まえ、教職員が同一歩調で授業改善及び学力向上に取り組めるようにしていく。

すべての子供たちが気持ちよく学校へ来られる環境作りを目標に、児童にとって居がいのある学校づくりを進めていく。

学校運営について

学校評価やアンケートの結果ですぐに改善できるものは早急に改善し、次年度の組織や努力点・具体策の中に今年度の改善点ができる限り反映させるようにする。

次年度についても、児童の安全を守る活動を地域の協力を得ながら継続していく。また、情報の発信やホームページの充実を継続することで、学校・家庭・地域の連携を深め、家庭や地域社会の願いや期待に応えることで信頼される学校づくりを目指す。

児童の状況について

（生活）

児童の意欲を高め、あいさつが飛び交う学校・地域を目指し、今後も学校全体で支援していく。また、アンケートや教育相談の内容の充実、スクールカウンセラーの効果的な活用を図っていく。さらにQ-U検査を生かし、居心地のいい学級づくりを目指し、児童の自己肯定感が高められるようにする。

（健康・体力）

生活習慣等については、指導の主体は保護者のため、踏み込んだ指導に難しさを感じる部分もあるが、学校での指導を継続するとともに、生活習慣の確立の重要性や心身の成長に影響が大きいこと等、継続して情報発信等を行っていく。場合によっては、町や地域の関係者の協力も仰ぎ、連携を図りながら啓発活動を進める。また、今後も児童の外遊びを推奨していく。

（学習）

児童が集中できる授業づくりや学習教材の工夫を継続し、複数での指導体制の充実を図り、分かる授業の展開に努める。児童の意欲や基礎学力の向上が図れるよう工夫を図っていく。

家庭学習については、保護者への啓発活動を継続するとともに、個に応じた家庭学習への支援の仕方を工夫する。また、読書活動については、児童と保護者の意識にずれが生じている実情を踏まえ、引き続き家庭の協力を得ながら、読書指導を充実させていく。